

## 参 考 文 献

## [第1編]

- 阿部馨・渡邊和夫(1993) : GPS による精密測地網一次基準点測量, 国土地理院時報, 77, 19-22.
- 秋山忠之・杉原和久・川本利一・木村勲・藤原智・都筑三千夫・黒石裕樹(1992) : 房総における重力異常調査, 国土地理院時報, 75, 50-52.
- 安藤久・佐々木正博・畑中雄樹・田中和之・重松宏実・黒石裕樹・福田洋一(2002) : 「日本のジオイド2000」の構築, 国土地理院時報, 97, 25-30.
- Ando M. (1975) : SOURCE MECHANISM AND TECTONIC SIGNIFICANCE OF HISTORICAL EARTHQUAKES ALONG THE NANKAI TROUGH, JAPAN, *Tectonophysics*, 27, 119-140.
- 馬場義男(1977) : 人工衛星レーザー測距装置, 国土地理院時報, 50, 58-65.
- 檀原毅(1965) : 地震予知と地殻変動, 国土地理院時報, 29, 14-21.
- 海老名頼利(2001) : 有珠山噴火に伴う測距・測角観測, 国土地理院時報, 95, 7-16.
- Fitch T. J. and C. H. Sholtz(1971) : Mechanism of Underthrusting in Southwest Japan: A Model of Convergent Plate Interactions, *Journal of Geophysical Research*, 76, 7260-7292.
- 藤井陽一郎(1978) : 1975 年大分県中部地震にともなう地震時および余効的地殻変動と重力変化, 国土地理院時報, 51, 58-62.
- 藤原智・渡邊和夫(1992) : 南極・昭和基地における絶対重力測定, 国土地理院時報, 76, 1-6.
- 藤原智・湊敏弘・都筑三千夫・中堀義郎(1994) : 北海道南西沖地震による地磁気変化, 国土地理院時報, 81, 1-7.
- 藤原智・田辺正・西修二郎・松坂茂・V. P. ゴロブコフ・S. V. フィリポフ(1998) : 日本および極東地域における地磁気変化モデルの作成, 国土地理院時報, 89, 12-17.
- 藤原智・濱崎英夫・門脇俊弘(2000) : 岩手山における全磁力連続観測, 国土地理院時報, 93, 12-18.
- 福岡順洋・国土地理院 VLBI グループ(2001) : 国土地理院による測地 VLBI 観測成果, 通信総合研究所季報, 47, 17-22.
- 後藤勝広・石原操・井上武久(1998) : 電子基準点を利用した RTK-GPS 実験, 国土地理院時報, 90, 20-26.
- 原口昇(1968) : 一等三角点改測終わる, 国土地理院時報, 35, 10-12.
- 長谷川裕之・村上亮・政春尋志・松尾馨・小荒井衛(2001) : 三宅島山頂の陥没地形の計測, 国土地理院時報, 95, 121-128.
- 橋本学(1994) : 北海道南西沖地震に伴う地殻変動, 国土地理院時報, 81, 61-65.
- 畑中雄樹・宮崎真一・中川弘之(1999) : GPS 気象学による水蒸気情報と GPS の精度向上, 国土地理院時報, 92, 52-56.
- 平井英明(2000) : 岩手山における機動観測, 国土地理院時報, 93, 1-11.
- 細野武庸(1989) : GPS による地殻変動観測の将来, 国土地理院時報, 69, 33-34.
- 細山謙之輔(1958) : アスカニア Gs11 重力計による地殻潮汐観測について, 国土地理院時報, 22, 22-24.
- 飯村友三郎(1994) : 擬似キネマティック法と高速スタティック法(ラピッドスタティック法)の基準点測量への応用利用, 国土地理院時報, 79, 1-6.
- 飯村友三郎・小林勝博・森下一(1995) : 全国 GPS 連続観測システムの運用, 国土地理院時報, 82, 1-5.
- 飯村友三郎・増田實(1996) : 阪神・淡路地方の臨時電子基準点, 国土地理院時報, 86, 93-98.
- 飯村友三郎・宮崎真一・佐々木正博(1997) : 高密度電子基準点網の構築, 国土地理院時報, 87, 37-49.
- 今給黎哲朗(1986) : 多波長レーザー測距装置の開発について, 国土地理院時報, 63, 40-43.
- 井上康司(1989) : GPS の実験観測, 国土地理院時報, 69, 16-24.
- 井上登(1986) : 特定地域観測と強化地域観測, 国土地理院時報, 63, 80-83.
- 石原正男・阿部義昭・辻宏道・畑中雄樹・斎田諒・吉村愛一郎・鷲谷威(1995) : 測地測量が捉えた兵庫県南部地震に伴う地殻変動, 国土地理院時報, 83, 15-23.
- 石原操(1989) : 測地衛星「あじさい」の観測, 国土地理院時報, 69, 81-90.
- 石井晴雄(1982) : 高精度長距離光波測距儀の開発, 国土地理院時報, 54, 24-31.
- 岩田悦郎(1994) : GPS 連続観測網による南関東・東海地域の地殻変動監視, 国土地理院時報, 81, 51-60.

- 柿沼清一(1973)：男女群島測量記(1)，国土地理院広報，60，4。
- 柿沼清一(1973)：男女群島測量記②，国土地理院広報，61，4。
- 河和宏・菅富美男(2000)：高精度比高観測点(電子基準点)による東海地域の地殻変動監視について，国土地理院時報，93，34-43。
- 建設省国土地理院(1994)：驗潮100年のあゆみ，国土地理院技術資料B・1-No.21，52。
- 木村勲(2002)：可搬型絶対重力計FG5による南極における重力測定(II)，国土地理院時報，97，17-23。
- 小林泰・斉藤正・大滝三夫・村上真幸・黒石裕樹(1997)：日本における正標高の計算式，日本測地学会第88回講演会要旨1997.10，3-4。
- 小牧和雄(1984)：慣性測量機器の開発，国土地理院時報，60，5-15。
- 小牧和雄(1992)：雲仙岳周辺における測地測量，国土地理院時報，75，3-11。
- 国土地理院(1976)：日本重力基準網1975の設定，測地学会誌，22(2)，65-76。
- 国土地理院測図部(1999)：測図部の歩み(50年史)，国土地理院技術資料C・1-No.273，47-49。
- 國見利夫・高野良仁・鈴木実・斉藤正・成田次範・岡村盛司(2001)：水準測量データから求めた日本列島100年間の地殻上下変動，国土地理院時報，96，23-37。
- 國見利夫・根本恵造・斉藤正(2001)：日本水準原点の変動について，測地第三課技術報告，平成13年5月。
- Kuroishi, Y. (1995)：Precise Gravimetric Determination of Geoid in the Vicinity of Japan, Bulletin of the Geographical Survey Institute, 41, 1-93.
- Kuroishi, Y. (2001a)：An improved gravimetric geoid for Japan, jgeoid98, and relationships to marine gravity data, Journal of Geodesy, 74, 745-755.
- Kuroishi, Y. (2001b)：A new geoid model for Japan, JGE0ID2000. In: Sideris, M. (ed) Gravity, geoid and geodynamics 2000. International Association of Geodesy Symposia, vol. 123. Springer, Berlin Heidelberg New York, 329-333.
- 黒石裕樹(2000)：日本のジオイドの重力手法による精密決定，測地学会誌，46(1)，1-20。
- 黒田次郎・高畑嘉之・松嶋成佳・福田洋一(1997)：LSC法によるGPS/水準測量と重力ジオイドの統合，国土地理院時報，87，1-3。
- 増田実(1989)：GPSの測地事業への応用，国土地理院時報，69，43-45。
- 町田守人・木村勲・小菅俊宏・安藤久・豊田友夫・田中愛幸・大久保修平(2000)：岩手山周辺における重力観測，国土地理院時報，93，19-27。
- 村上亮・太島和雄(1981)：可搬型絶対重力計について，国土地理院時報，53，35-40。
- 村上亮・藤原智・斉藤隆(1995)：干渉合成開口レーダーを使用した平成7年兵庫県南部地震による地殻変動の検出，国土地理院時報，83，24-27。
- 村上真幸・吉田義一(1987)：伊豆大島における水準重力測量の結果，国土地理院時報，66，5-12。
- 中堀義郎(1985)：重力ブーゲー異常図の刊行について，国土地理院時報，62，3-9。
- 中村一明(1971)：松代地震から学んだこと，科学朝日，1971年10月号，127-133。
- 中根勝見・藤原智・大滝修(1995)：鉛直線偏差の精密内挿，国土地理院時報，82，58-62。
- 成田次範・小林勝博(2001)：有珠山噴火に伴う水準測量，国土地理院時報，95，3-6。
- 根本恵造(1990)：GPSの二次網への応用-GPSの基本測量等への実用化を目指して-，国土地理院時報，72，1-12。
- 根本盛行・平井英明(1990)：精密水準測量作業用標尺台の改良，国土地理院時報，72，57-67。
- 根本盛行・田中博幸・小枝登・鷺谷威(1999)：GPSによる精密比高観測，国土地理院時報，91，24-34。
- 日本鉄道建設公団(1990)：津軽海峡線工事誌，458-465。
- 西村卓也・村上亮・飛田幹男・中川弘之・鷺谷威・多田堯・菅富美男・藤咲淳一・田村孝・佐藤博行・藤原智(2000)：岩手山の火山活動及び岩手県内陸北部の地震(M6.1)の地殻変動と火山活動が地震を誘発した可能性について，国土地理院時報，94，21-30。
- 西修二郎(1982)：日本の天文ジオイドについて，国土地理院時報，55，29-37。
- 錦輝明・大滝三夫(1992)：航空磁気測量結果を利用した全磁力図作成，国土地理院時報，75，57-61。
- 錦輝明・白井宏樹・藤原智(2000)：岩手山航空磁気測量図の作成，国土地理院時報，94，15-20。

- 錦輝明・白井宏樹・黒石裕樹・阿部博・豊田友夫・藤原智(2001)：有珠山航空磁気測量図の作成，国土地理院時報，95，79-85.
- 小笠原義勝(1949)：福井地震の被害と地変—特に断層について—，地理調査所時報，6，1.
- 大森又吉(1949)：福井震災地一等水準測量改測結果について，地理調査所時報，6，3.
- 大森又吉(1950)：地籍測量のための基準点測量，地理調査所時報，10，1-6.
- 大瀧三夫(1989)：フラックスゲート型三軸磁力計による地磁気観測，国土地理院時報，70，16-20.
- 大瀧茂(1995)：阪神・淡路大震災に伴う国土地理院の取り組み，国土地理院時報，83，1-5.
- 奥田・原田(1949)：濃尾地方一等水準測量成果について，地理調査所時報，5，4-5.
- 奥田豊三(1949)：地理調査所における測地作業の概況，地理調査所時報，6，4-6.
- 斉藤正(2001)：「測地成果2000」水準点成果と過去の水準点成果について，測地第三課技術報告，平成13年7月.
- 斉藤正・成田次範・黒田次郎(2002)：「2000年度平均成果」の構築作業について，測地第三課技術報告，平成14年3月.
- 佐々木與四夫(1986)：絶対重力計による重力測定の結果，国土地理院時報，63，44-47.
- 佐藤裕(1971)：地震と地殻変動，国土地理院時報，42，20-24.
- 澤田正典・堀田暁子・日下正明・畑中雄樹(1999)：GEONETにおけるマルチパス及びレドームの影響，国土地理院時報，91，43-48.
- 瀬戸孝夫(1968)：オーストラリアにおける重力測量，国土地理院時報，36，13-23.
- 篠邦彦(1949)：福井地震後の三角測量改測結果について，地理調査所時報，5，2-3.
- 篠邦彦(1949)：福井地震の災害調査と空中写真，地理調査所時報，6，2-3.
- 測量部(1951)：南海震災一等水準検測成果中間報告，地理調査所時報，11，14-15.
- 測量・地図百年史編集委員会(1970)：測量・地図百年史，国土地理院技術資料A・1-No.8.
- 測地部(1961)：南海地震による災害復旧測量，国土地理院時報，26，18-22.
- 測地部(1966)：青函海底トンネル基礎測量，国土地理院時報，31，16-26.
- 測地部(1967)：松地地震に伴う測地測量報告 第一報，国土地理院時報，33，1-11.
- 測地部(1980)：NNS方式による離島位置の決定，国土地理院時報，52，22-30.
- 測地部(1997)：新しい日本重力基準網の構築，国土地理院時報，87，13-20.
- 測地第一課(1953)：新しく地理調査所で製作した振子型重力測定装置について，国土地理院時報，16，40-41.
- 測地第一課(1954a)：日本における重力測量の現況，国土地理院時報，17，10-13.
- 測地第一課(1954b)：日本における地磁気測量の現況，国土地理院時報，17，14-17.
- 測地第二課(1974)：精密測地網基準点測量について，国土地理院時報，46，1-4.
- 測地第二課(1986)：測地実験衛星「あじさい」打ち上げなる！，国土地理院広報，218，1-2.
- 測地第二課(1988)：慣性測量機器の開発(Ⅱ)，国土地理院時報，68，3-12.
- 測地第三課(2003)：基本水準点「2000年度平均成果」の構築作業について，概要原稿，平成15年1月.
- 須田教明・嶋田八朗・長島敏正(1983)：青函トンネル先進導抗貫通と測量，日本測量協会機関誌「測量」4月号，12-16.
- 水準測量と水準点の役割 —高さを測る—：国土地理院パンフレット.
- 鈴木弘道(1967)：国際重力測定について，国土地理院時報，33，12-24.
- Suzuki, H. (1974): Establishment of the Gravimetric Network in Japan, Bulletin of the Geographical Survey Institute, 20, 1-150.
- 鈴木弘道(1975)：国際重力基準網の完成と日本の重力値，国土地理院時報，47，1-11.
- 田辺正(1997)：全国に設置した地球電磁気連続観測装置，国土地理院時報，87，4-12.
- 田中勇吉(1953)：日本水準原点の高さについて，国土地理院時報，16，22-25.
- 田中穰・広石一男・安藤眞一(1986)：国土地理院における航空磁気測量と日本周辺の地磁気異常，国土地理院時報，63，13-20.
- Thatcher W. (1984)：The earthquake deformation cycle on the Nankai Trough, southwest Japan, J. Geophys. Res., 89, 3087-3101.
- 地殻活動調査室(1973)：東海地方の地殻活動と地震予知，国土地理院時報，45，1-6.

- 地殻調査部(1976)：多摩川下流域の地盤隆起と地震予知，国土地理院時報，49，1-10.
- 地理調査所(1947)：鹿児島・高知及び紀伊地方一等水準検測実施報告，地理調査所時報，1，3-5.
- 地理調査所(1948)：東京都復興測量，地理調査所時報，2，4.
- 地理調査所(1950)：「GSB型磁気儀」の完成なる，地理調査所時報，9，5.
- 東海機動観測基地：国土地理院パンフレット.
- 坪川家恒・田島稔・瀬戸孝夫(1957)：核誘導型磁力計について I. 地磁気全磁力の測定，測地学会誌，4(1)，24-32.
- 辻宏道(1991)：国土地理院によるGPS衛星軌道決定システムの構築，国土地理院時報，74，1-7.
- 辻昭治郎・栗山稔・鶴見英策(1969)：小笠原諸島調査報告，国土地理院時報，37，1-18.
- 辻昭治郎(1981)：第2次硫黄島総合調査団に参加して，国土地理院時報，53，9-18.
- 飛田幹男・村上亮・中川弘之・矢来博司・藤原智(2001)：SAR画像のマッチングによる有珠山周辺の面的な三次元地殻変動，変動速度，体積変化，国土地理院時報，95，37-48.
- 都筑三千夫・西修二郎・松村正一(2001)：仮想基準点方式によるリアルタイム測位，国土地理院時報，96，39-44.
- 和田敏彦・板橋昭房・愛場政広(1986)：NNSS人工衛星観測10年のあゆみ，国土地理院時報，63，21-30.
- 山本宏章(1996)：可搬型絶対重力計FG5による南極における重力測定，国土地理院時報，85，18-22.
- 矢来博司・村上亮・飛田幹男・中川弘之・藤原智(2001)：RADARSATの干渉SARでとらえた平成12年(2000年)鳥取県西部地震に伴う地殻変動，国土地理院時報，95，139-145.
- 横川薫(2001)：有珠山における自動観測監視施設の設置，国土地理院時報，95，17-28.
- 吉川虎男(1968)：西南日本外帯の地形と地震性地殻変動，第四紀研究，7，157-170.
- 吉村好光(1990)：伊豆東方沖の群発地震及び海底噴火にかかわる地殻変動について，国土地理院時報，71，17-22.

## [第2編]

- 秋山実(2001)：写真測量，(株)山海堂.
- 福島康博・木村幹夫・前野政克・鈴木宏昭(1998)：国土面積の計測・管理システムの開発，国土地理院時報，89，40-43.
- 菱山剛秀(1995)：地名データベース作成に関する調査研究，地図管理部技術報告第2号，国土地理院技術資料E・3-No.2，17-23.
- 磯部民夫(1991)：1/2,500国土基本図デジタルマッピングの経緯，測図部技術報告第1号，国土地理院技術資料C・2-No.1，12-17.
- 木下章・内藤勝盛・寺林敏之(1990)：国土基本図データベースの概要，国土地理院時報，71，37-41.
- 小荒井衛・茂木公一・浦部ぼくろう・村上真幸・鈴木宏昭(2000)：航空レーザー測量の精度検証，測図部技術報告第10号，国土地理院技術資料C・2-No.10，48-53.
- 国土地理院(1960)：国土基本図整備計画の概要，国土地理院時報，25.
- 国土地理院(2002)：2万5千分1地形図のフルベクトル化特集，国土地理院時報，98.
- 国土地理院測図部(1996)：測図部技術報告第6号，国土地理院技術資料C・2-No.6.
- 国土地理院測図部(1999)：測図部の歩み(50年史)，国土地理院技術資料C・1-No.273.
- 国土地理院測図部(2002)：測図部技術報告(特集号2万5千分1地形図ベクトル化)，国土地理院技術資料C・2-No.12.
- 国土地理院地理調査部(1985)：小縮尺地図集，国土地理院技術資料D・1-No.259.
- 国土地理院地理調査部(1996)：地理調査50年のあゆみ，国土地理院技術資料D・1-No.339.
- 国土地理院地図部(2001)：地図部のあゆみ，国土地理院技術資料E・1-No.264.
- 政春尋志(1986)：白地図データベースの技術基準，国土地理院時報，64，16-28.
- 長岡正利・三橋眞・阿部正勝・吉村保男・小松隆・船津裕司・吉成秀勝(1990)：「全国都道府県市区町村別面積調」の改訂・公表について，国土地理院時報，71，54-62.
- 南雲吉久(2002)：GPS/IMU統合技術とその応用について，測図部技術報告第12号，国土地理院技術資料C・2-No.13，31-35.
- 中川勝登・茂木公一・浦部ぼくろう(1999)：航空レーザー測量の地形測量への利用に関する研究，測図部技術報告第9

号, 国土地理院技術資料 C・2-No. 9, 76-82.

- 佐藤潤 (2002) : リモートセンシングによる空間データ取得と国土管理への応用, 第 21 回測量技術講演会料, 35-43.  
 社団法人 日本写真測量学会, デジタル写真測量研究委員会(2002) : デジタル写真測量, 社団法人 日本写真測量学会.  
 島田信也(1997) : 日本国勢地図 (CD-ROM) の発行, 国土地理院時報, 88, 48-53.  
 測量・地図百年史編集委員会(1970) : 測量・地図百年史, 国土地理院技術資料 A・1-No.8.  
 測図部(1975) : 国土情報整備事業におけるカラー空中写真について, 国土地理院時報, 47, 16-19.  
 測図部国土基本図課(1998) : 国土基本図整備に関する歩み (国土基本図課 35 年史).  
 高山直樹(1991) : 1 万分 1 地形図の数値化について, 測図部技術報告 第 1 号, 国土地理院技術資料 C・2-No. 1, 22-26.  
 鉄島清忠(1989) : 新しい 5 万分 1 地形図の試験刊行, 国土地理院時報, 70, 29-34.  
 地理調査部地図編集課(1991) : 「新版 日本国勢地図」の刊行について, 国土地理院時報, 73, 43-47.  
 地図編集課・地理調査技術開発室 (1993) : 地図数値情報を利用した中小縮尺基本図の編集, 国土地理院時報, 77, 51-56.  
 谷田部好徳(1993) : 電子アトラスシステムの開発について, 国土地理院時報, 77, 45-50.

### [第 3 編]

- Akiyama, M., Kidokoro, M., Hoshino, Y. and Une H. (2001) : Promotion of Global Map Project, Paper submitted to the Seventh United Nations Regional Cartographic Conference for the Americas, E/CONF.93/INF.5.  
 安藤暁史(2002) : 月別植生指標データの作成・提供方法の再構築, 地理調査部技術ノート第 19 号, 国土地理院技術資料 D・5-No.19, 88-100.  
 安藤恵美(1999) : 気象衛星 NOAA14 号 AVHRR を利用した月別植生指標データの作成・提供, 地理調査部技術ノート第 17 号, 国土地理院技術資料 D・5-No.17, 1-8.  
 Estes, J. E. and D. W. Mooneyhan (1994) : Of Maps and Myths, Photogrammetric Engineering and Remote Sensing, 60(5), 517-524.  
 Fukushima, Y. (2000) : Implementation of Global Mapping, Bulletin of the Geographical Survey Institute, 46, 17-31.  
 International Steering committee for Global Mapping: Home Page, <http://www.iscgm.org/>  
 岩橋純子(1994) : NOAA データを用いた土地環境変化の地理的特性に関する研究 (第 1 年次), 平成 6 年度調査研究年報, 国土地理院技術資料 A・1-No.176, 67-68.  
 環境庁・外務省(1997) : アジェンダ 21 実施計画('97), エネルギージャーナル社.  
 川本清美(2002) : NOAA/AVHRR CH.4 データを利用した植生分類について, 地理調査部技術ノート第 19 号, 国土地理院技術資料 D・5-No.19, 79-87.  
 建設省国土地理院(1991) : イメージサーベイ 地球を見つめるー地球環境問題に関する測量・地図分野の課題ー, 大蔵省印刷局.  
 国土地理院地理調査部(1981) : 土地利用図作成の手引き  
 丸山弘通(1998) : 地球地図整備推進のための国際的合意形成, 国土地理院時報, 89, 59-75.  
 丸山弘通・高橋広典(1999) : 地球地図整備の実施状況, 国土地理院時報, 91, 70-85.  
 政春尋志(2002a) : ヨハネスブルク・サミットと地球地図, 地理情報システム学会講演論文集, 11, 423-426.  
 政春尋志(2002b) : 地球地図のヨハネスブルクサミットへの取組とその成果, 地図 (投稿中)  
 根本正美(2002) : 国土環境モニタリングにおけるデータセットについて, 地理調査部技術ノート第 19 号, 国土地理院技術資料 D・5-No.19, 59-77.  
 野々村邦夫・宇根寛 (2000) : 地球規模の地理情報の整備ー地球地図およびその他の国際プロジェクトの動向ー, 環境科学, 29(2), 8-12  
 乙井康成(1998) : 地球地図の展開ー構想からデータ整備事業へ, 第 27 回国土地理院技術研究発表会資料, 国土地理院技術資料 A・1-No.199, 12-19.  
 細密数値情報(10m メッシュ土地利用)首都圏 1974, 1994.  
 関口民雄 (1994) : 国土地理院に設置された人工衛星データ解析装置ー災害・環境モニタリングシステムー, 国土地理院時

報, 80, 78-86.

関口辰夫・中島秀敏・津沢正晴・吉武勝宏・政春尋志・田口益男・小田切聡子(1996) : 都市圏活断層図の作成について, 国土地理院時報, 86, 69-81.

高橋広典(1999) : 地球地図仕様とアジア地域のデータ作成について, 地図, 37(4), 5-13.

津沢正晴, 大塚力, 岩橋純子(1995) : NOAA データを用いた土地環境変化の地理的特性に関する研究 (第 2 年次), 平成 7 年度調査研究年報, 国土地理院技術資料 A・1-No. 183, 91-92.

Une, H. (2001) : Toward the Next Stage of the Global Mapping Project - Successful Completion of Phase 1 with Release of Global Map Version 1.0 -, Bulletin of the Geographical Survey Institute, 47, 13-19.

宇根寛(2001) : 地球地図の経緯と現状, 地図, 39(4), 13-19.

内山浩二郎, 大塚力(1996) : NOAA データを用いた土地環境変化の地理的特性に関する研究 (最終年次), 平成 8 年度調査研究年報, 国土地理院技術資料 A・1-No. 191, 67-68.

#### [第 4 編]

木下章 (1986) : CCPS について, 国土地理院時報, 64, 55-59.

国土地理院 (2001) : 地図部のあゆみ, 国土地理院技術資料 E・1-No. 264.

国土地理院 (1989) : 地図情報室の歩み, 国土地理院技術資料 E・1-No. 163.

下山泰志・大山岳志 (1997) : ファクシミリ地図の提供について, 国土地理院時報, 87, 68-75.

測量・地図百年史編集委員会 (1970) : 測量・地図百年史, 国土地理院技術資料 A・1-No. 8.